

島の宝  
100景

# 神の宿る島「沖ノ島」

沖ノ島（おきのしま）



【場所】福岡県宗像市  
宗像大社沖津宮



島の人口：-人  
島の面積：-km<sup>2</sup>  
(平成17年国調)

神秘に包まれた神の宿る島「沖ノ島」。見渡す限り空と玄界灘に囲まれた”絶海の孤島”は、大陸との交易を見守る航海の神として、古くより玄海洋上絶大の威徳を発揚してきました。島内には、沖ノ島で執り行われた古代の国家的な祭祀跡が当時のままで保たれています。また、「女人禁制」、「おいわず様（口外しない）」、「一木一草一石たりとも島外に持ち出さない」など、宗像大社や地元漁師等によりさまざまな禁忌やおきてが守り継がれています。その一つが上陸の際に行う「禊」。いかなる人も真っ裸になって海に浸かるしきたりで、神の前で神聖な気持ちになって身も心も清めます。

写真左：玄界灘の真っ只中に神秘的な姿を現す沖ノ島

写真右：沖ノ島上陸後に行う「禊（みそぎ）」

※沖ノ島は許可なく上陸できません。

問い合わせ先：国土交通省都市・地域整備局離島振興課

〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3

TEL 代表 03-5253-8111(内 33-144) 直通 03-5253-8421